

ハンドマイク宣伝例【最大規模の日米合同演習——北海道を軍事基地にするな】

2017年8月4日

道常任委員会

みなさんこんにちは

日本共産党の〇〇です。この場をお借りして、日本共産党の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん

8月10日から、アメリカ軍と自衛隊が合同で軍事演習を行います。このたびの日米合同の軍事演習は3300人が参加する、過去最大規模の軍事演習となります。あまりにも規模が大きく、道民の間にも不安を訴える声が広がっています。安倍政権は、安保法制Ⅱ戦争法を成立させた今、北海道を舞台に巨大な軍事演習を行うことは、自衛隊に実際に武力行使をさせることへの準備に他なりません。

日本共産党は、北海道を軍事基地にさせる「日米合同演習」に反対し、訓練の中止を要求します。

みなさん

このたびの日米合同の軍事演習は、恵庭・千歳・北広島・札幌にまたがる「北海道大演習場」と、上富良野、道東の矢白別の3か所で行われ、まさに北海道を股にかけた軍事演習になります。しかも、アメリカ軍の兵力が2000人にもなり、陸上自衛隊も1300人が参加、総勢3300人になります。これは、過去最大規模の軍事演習です。市街地戦闘などの訓練のほか、矢白別演習場では「ロケット砲」が、日本国内ではじめて実弾射撃されます。この装備は沖縄の海兵隊にはないもので、わざわざアメリカ本土から持ち込んで訓練に参加させるといいます。もはや、「沖縄の負担軽減」などという言い訳さえも、通用しません。文字通り「アメリカ軍と一体で戦争する」、そのための国づくりに、足を踏み入れるものです。

さらに重大なことには、危険な新型輸送機オスプレイの訓練が計画されています。オスプレイは、これまで世界各地でいくつもの死亡事故を起こしていて、とりわけ去年の12月には沖縄県名護市で民家から数キロの海岸に墜落して、沖縄県民を震え上がらせた。今回の演習に加わる自衛隊の責任者は、「オスプレイの安全性を説明することが重要」などと記者会見で言っています。しかし、オスプレイはエンジン・フィルターにも重大な欠陥も見つかっており、むしろ危険性がはつきりと証明されています。その危険性のため、「空飛ぶ棺桶」と呼ばれて、世界でアメリカと日本以外に運用する国はありません。すでに7月31日にテスト飛行のような形で、島牧村の市街地上空をものすごい爆音を響かせて飛んで行ったことが分かっています。さらに、今回の訓練では夜9時までの夜間訓練も実施することが明らかになりました。にもかかわらず、防衛省は、「混乱をきたす可能性がある」と、訓練時間は教えない」といっています。あまりにも道民の暮らしと安全を軽んじた、無責任な態度ではないでしょうか。

日本共産党は、オスプレイの飛行中止を求める要請書を、高橋はるみ北海道知事に提出しました。危険なオスプレイに飛行中止と、日米共同訓練の詳しい情報を事前に公表することを、強く要求します。

みなさん

安倍政権は、安保法制Ⅱ戦争法を強行し、南スーダンの日報をひた隠しにしてまで自衛隊に「駆け付け警護」の任務を与えました。そしてついには、憲法9条を書き換えるなどと公然と宣言しています。北海道での軍事演習も、そういった「海外で戦争できる国づくり」の流れに他なりません。その安倍政権は、自衛隊の「日報隠し」疑惑や、森友・加計学園疑惑を隠し通すために、内閣改造で大臣を大きく入れ替えました。しかし、政権の支持率が下がったのは、「安倍首相が信頼できない」ことが最大の理由であると、世論調査でも明らかになっています。求められているのは内閣改造ではなく、内閣総辞職ではないでしょうか。今こそと解散・総選挙を通じて、安倍政治をストップさせようではありませんか。

日本共産党が発行する、毎日の「しんぶん赤旗」は、ひと月3497円、週一回発行の日曜版は823円です。「しんぶん赤旗」の購読もお願い申し上げます、この場での訴えとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございます。